

平成28年度事業計画及び 収支予算の概要

医療施設特別会計



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

1. 平成27年度 主な取組みと今後の課題

項目	目標	これまでの取組み	今後の方向性・課題
災害医療の取組み	災害医療への貢献	救護員・コーディネーターチームの養成	・養成人員の拡大
経営基盤の強化	経営の健全化	経営情報の収集、分析、提供	・経営改善の支援の拡大
	グループ経営資源の有効活用	グループメリットを活かした事業の実施	・グループ事業の推進
地域医療の取組み	赤十字の特色を活かした医療の提供	地域医療構想に沿った機能の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携の推進 ・病院の機能の明確化
安全・安心な医療提供	良質で安全な医療の提供	医療安全研修体系の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全、感染対策の充実 ・医療の質の向上の推進

2. 医療事業の方針

事業環境

- ・医療制度改革に基づく医療と介護の再編
- ・超少子高齢化
- ・地域医療構想への対応
- ・診療報酬改定
- ・大規模地震等自然災害発生への対応

基本戦略

- 事業本部制による総合力を活かした病院運営
- ・「人・物・資金・情報」などグループにおける豊富な経営資源を相互に活用できる仕組みの構築
 - ・経営支援体制の強化

施策

- (1) 経営の健全化
- (2) グループ経営資源の有効活用
- (3) 災害医療への取り組み
- (4) 地域医療への貢献
- (5) 安全・安心な医療提供体制の充実



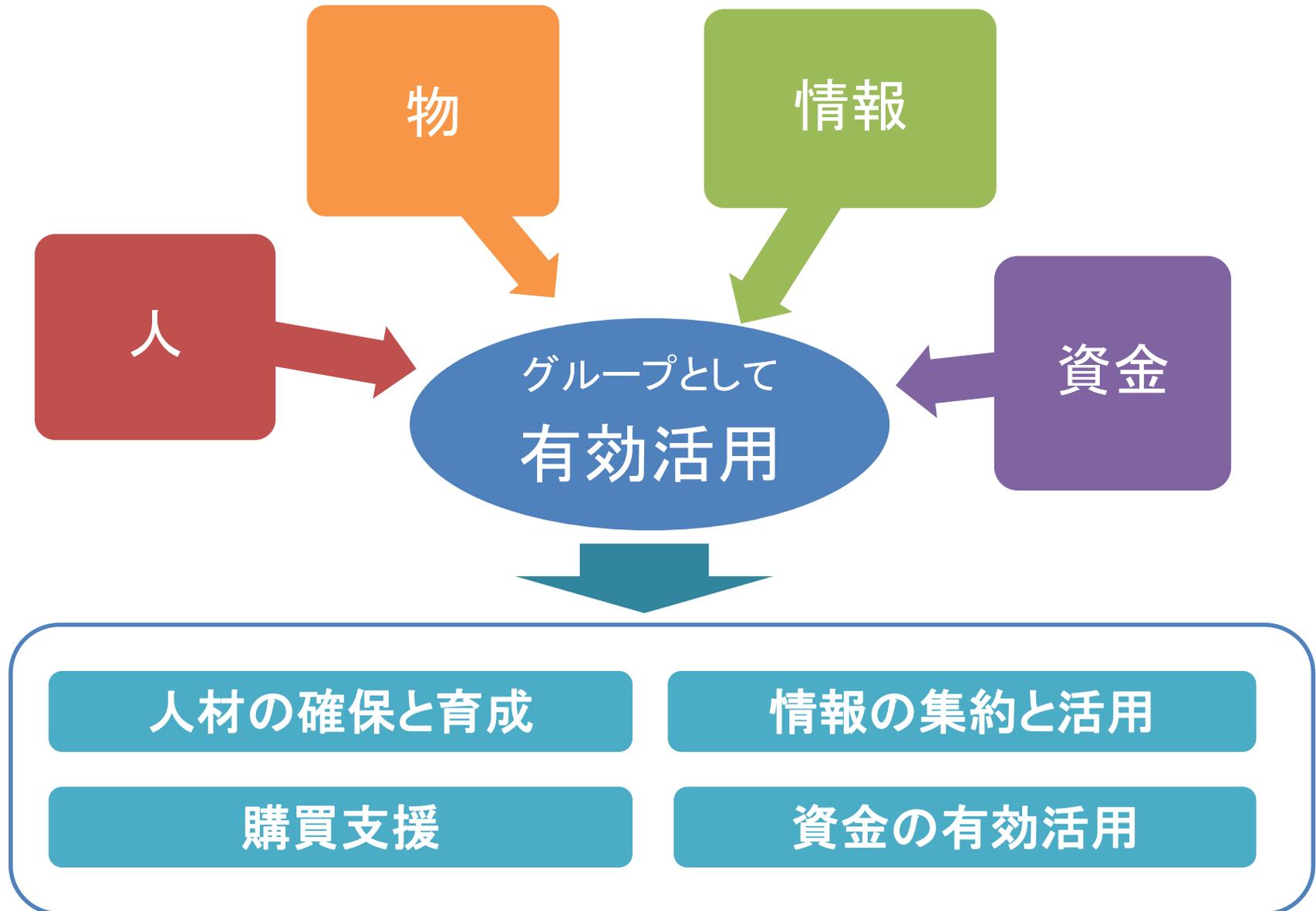
3. 各施策について

(1) 経営の健全化

最重点課題

- ・経営改善計画の策定支援、実行支援
- ・経営情報の収集・分析・提供
- ・建築事業支援、医療情報システム整備支援
- ・病院間の協力と連携の強化

(2) グループ経営資源の有効活用



ア. 人材の確保と育成

(ア) 医師

- ・医師不足施設に対するグループ内医師派遣
- ・医学生に対するリクルート活動
- ・新専門医制度開始に伴う研修医獲得
- ・赤十字総合診療医研修システムの構築



医学生に対する就職説明会

(イ) 看護職員

- ・看護師不足施設に対するグループ内看護師派遣
- ・看護師募集にかかる広報の充実
- ・グループ内人事交流



看護師就職説明会

(ウ) 経営企画部門

- ・経営マネジメントを担う人材の育成
- ・本社病院間の人事交流
- ・WEB会議システムによる研修

イ. 購買支援

- ・医薬品・診療材料のベンチマークシステム活用・推進
- ・グループの購買情報を収集・分析・共有し、各病院の交渉力を向上

ウ. 資金の有効活用

- ・グループ内での資金貸付の拡大
- ・外部金融機関からの借入の削減、支払利息の低減

エ. 情報の集約と活用

- ・医事、会計、財務、購買等各種情報の集約と活用
- ・情報共有サイトの利用による各種情報の共有

(3) 災害医療への取り組み

『災害からいのちを守る日本赤十字社』

災害拠点病院として地域における機能を強化
大規模・広域災害に対して、長期にわたる対応力の強化

災害医療に携わる人材の育成

- ・全国赤十字救護班研修会
- ・日赤災害医療コーディネート研修会



- ・養成人員の拡大
- ・災害現場で救護団体の調整を担う
コーディネートチームの養成



全国赤十字救護班研修会

(4) 地域医療への貢献

ア. 政策医療の取り組み

- ・赤十字病院としての特色ある医療 災害医療、救急医療等の提供
- ・5疾病・5事業に在宅医療を加えた政策医療

【主な機能】

高度救命救急センター	5施設
救命救急センター	29施設
小児救急医療拠点病院	7施設
災害拠点病院	63施設
ドクターヘリ基地病院	5施設
感染症指定医療機関	32施設
地域医療支援病院	53施設
へき地医療拠点病院	17施設

(平成28年1月1日現在)



イ. 地域医療構想への対応

- ・地域医療構想や地域医療ニーズに応じた赤十字病院の機能の明確化
- ・地域医療機関との連携・協力の推進

(5) 安全・安心な医療提供体制の充実

ア. 医療安全への取り組み

- ・医療安全管理者会議の開催
- ・医療対話推進者養成研修会の開催
- ・医療事故調査制度に対応する仕組みの検討
- ・感染管理体制の構築の検討



医療対話推進者養成研修会

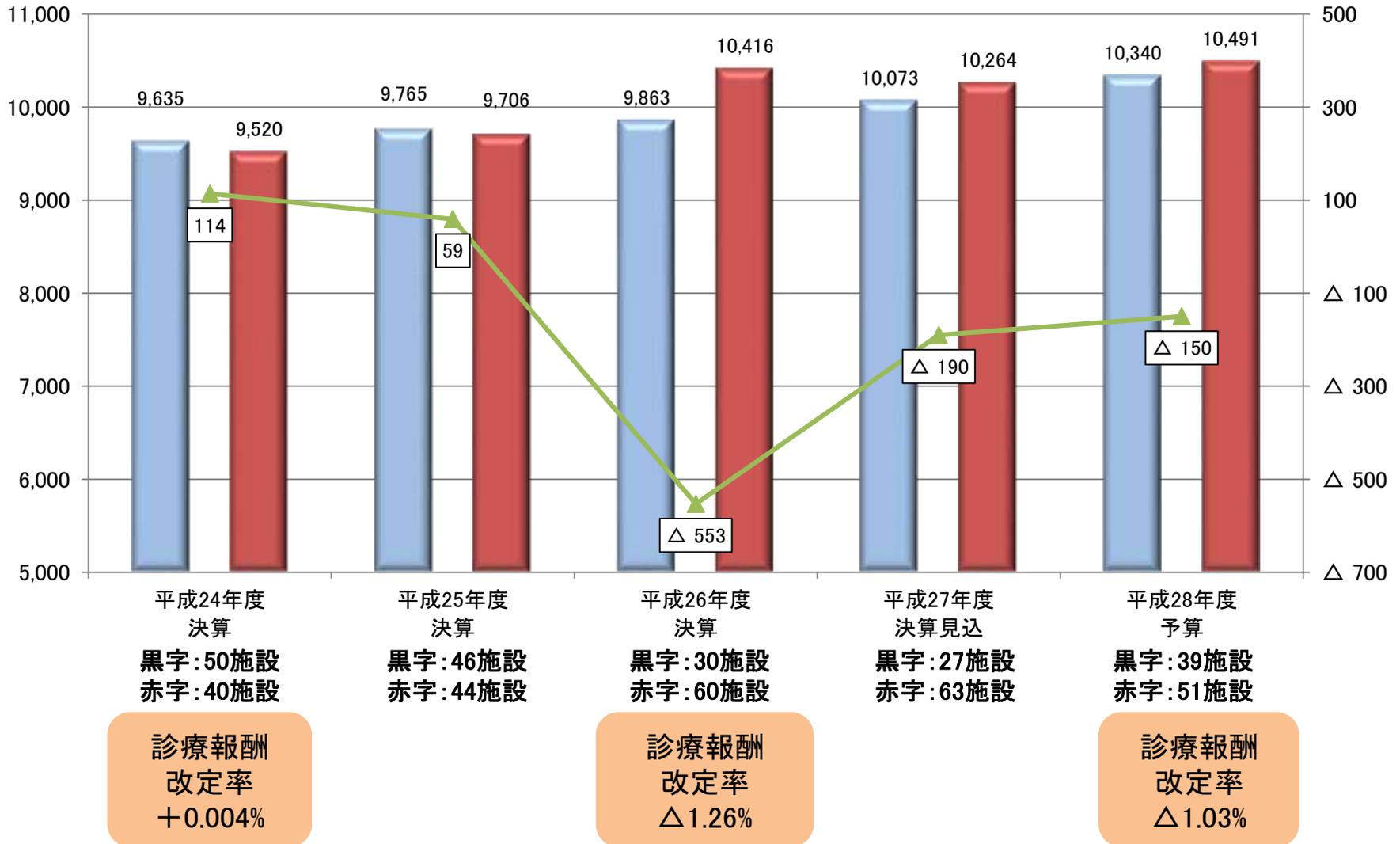
イ. 医療の質の向上への取り組み

- ・臨床指標評価を活用した医療の質の向上と改善

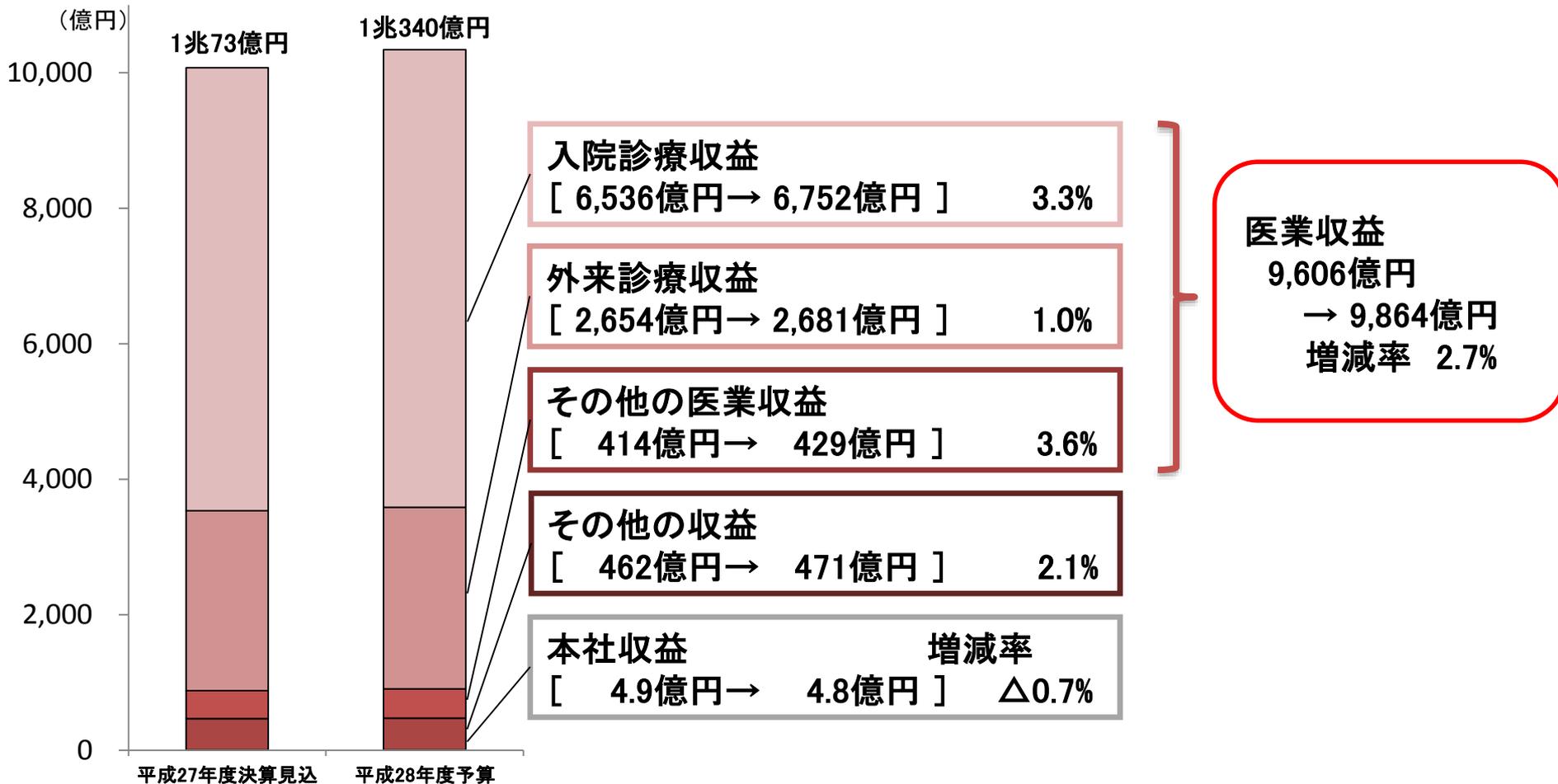
4. 経営状況の推移

単位: 億円

■ 総収入 ■ 総支出 ▲ 総収支
 ※平成26年度決算は退職給付引当金373億円の追加計上を含む。



5. 医療施設特別会計 収益的収入のあらまし

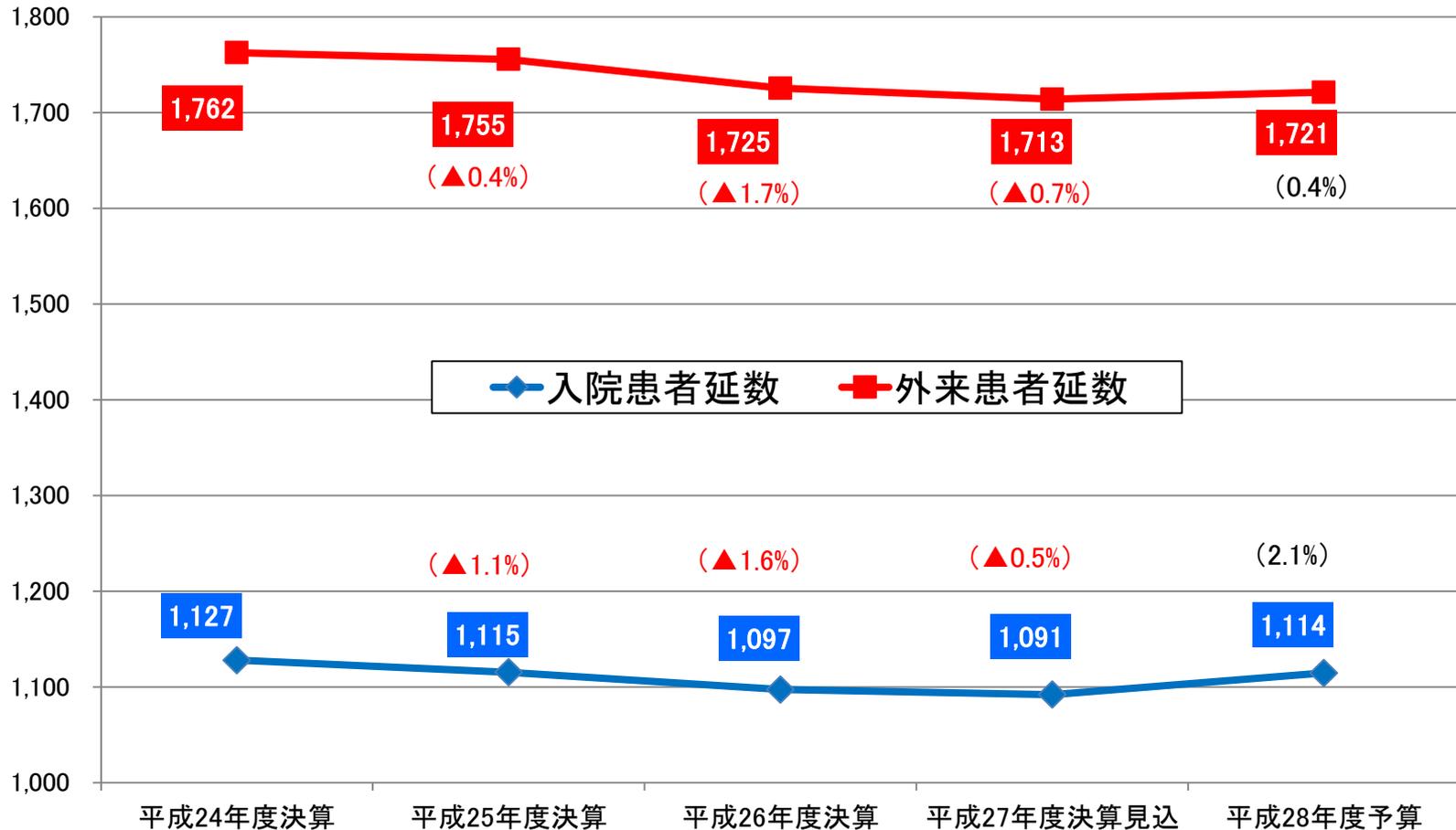


	平成27年度決算見込	平成28年度予算	増減率
収益的収入合計	1兆73億円	1兆340億円	2.7%

(1) 患者数の推移

- ア 入院患者延数 11,145,073人【対27年度決算見込 225,572人増、**2.1%増**】
- イ 外来患者延数 17,212,311人【対27年度決算見込 73,413人増、**0.4%増**】

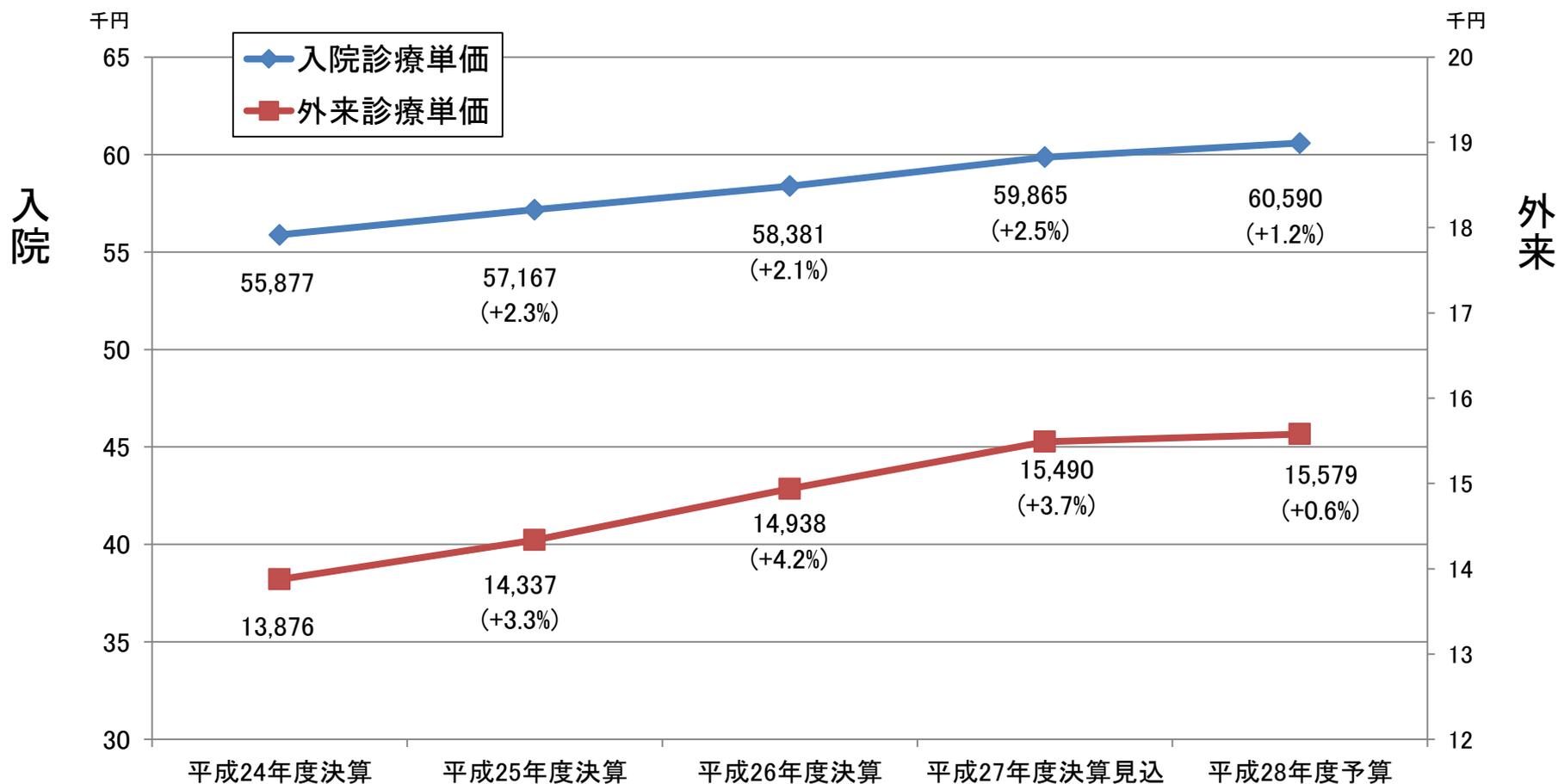
万人



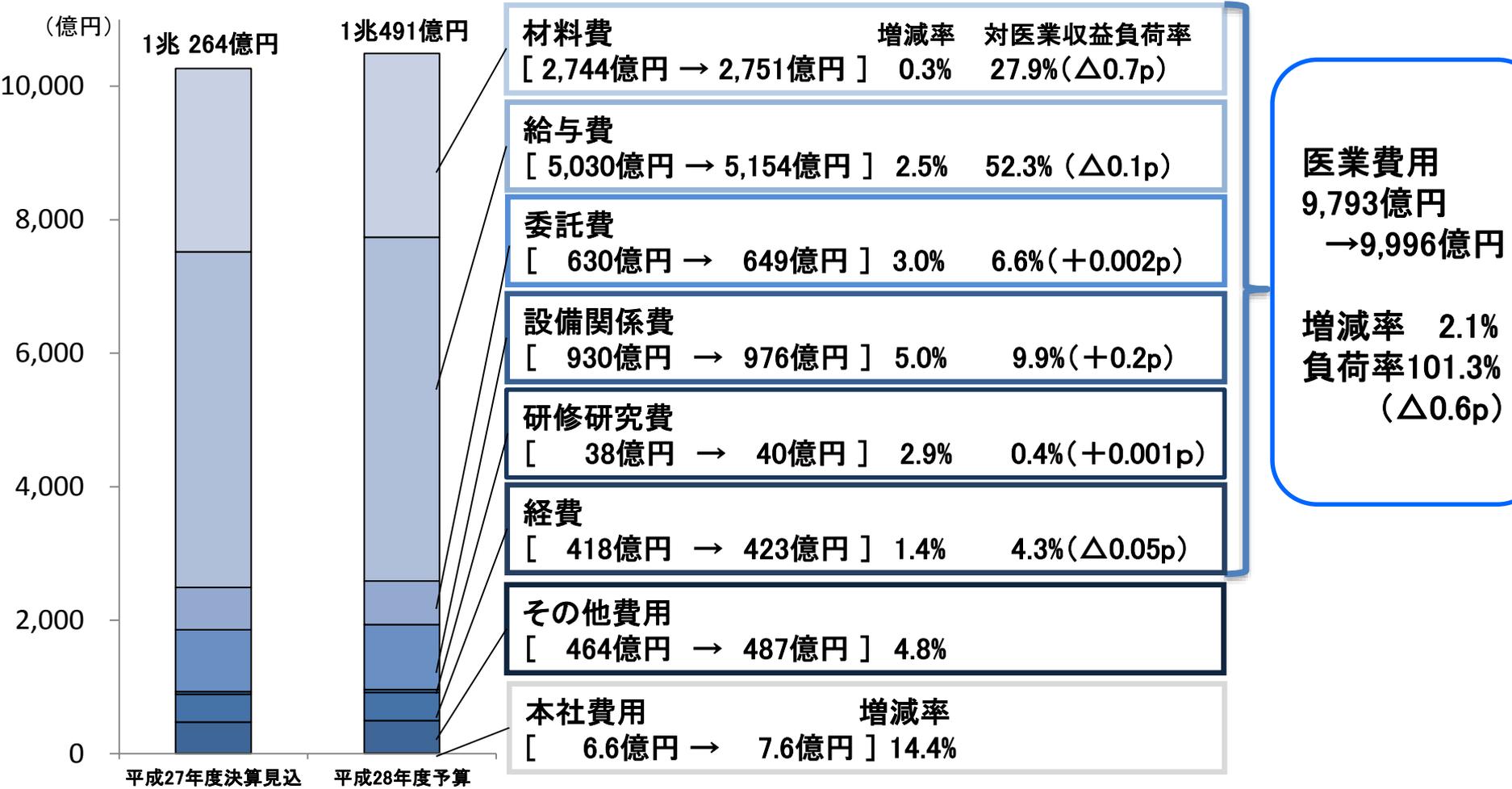
(2) 診療単価の推移

ア 入院 59,865円⇒60,590円【725円増、**1.2%増**】

イ 外来 15,490円⇒15,579円【 89円増、**0.6%増**】



6. 医療施設特別会計 収益的支出のあらまし



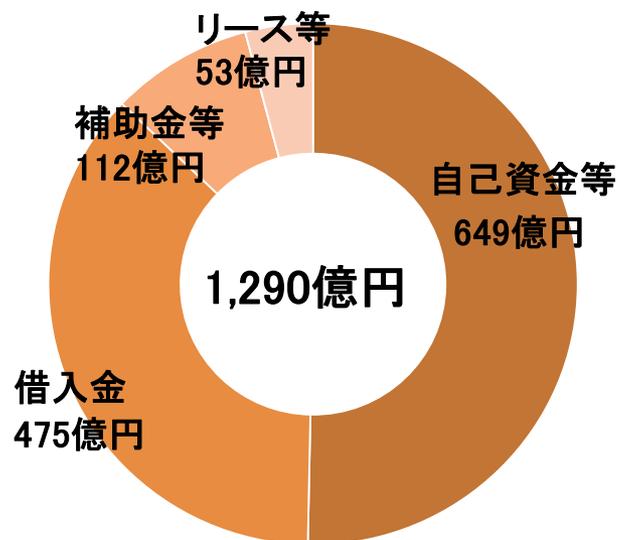
医業費用
 9,793億円
 →9,996億円

増減率 2.1%
負荷率101.3%
 (Δ0.6p)

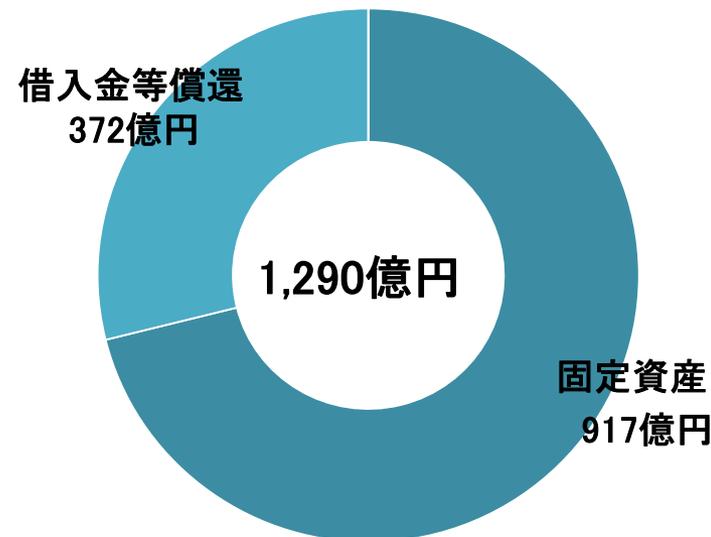
	平成27年度決算見込	平成28年度予算	増減率
収益的支出合計	1兆264億円	→ 1兆491億円	2.2%
収支差引額	△190億円	△150億円	

7. 医療施設特別会計 資本的収支のあらまし

【収入】



【支出】



資本的支出

固定資産(内訳)	金額	借入金等償還(内訳)	金額
建物・建物付属設備等	564億円	借入金償還	310億円
医療用器械備品等	274億円	リース未払金支払	57億円
車両等	9億円	その他負債返済	4億円
土地	9億円		
無形固定資産	59億円		

8. 病院建築工事の概要

- ・さいたま赤十字病院
移転新築工事 132億2,200万円
- ・前橋赤十字病院
移転新築工事 98億 600万円
- ・芳賀赤十字病院
移転新築工事 71億2,500万円
- ・松山赤十字病院
増改築等工事 64億7,200万円
- ・高知赤十字病院
移転新築工事 37億1,100万円

合計 20件 564億円



さいたま赤十字病院



前橋赤十字病院